

「A 大学病院の救急外来における外国人患者の受診の実態調査」に関する情報公開

1. 研究の対象

2016年10月1日～2017年9月30日に当院救急外来を受診された外国人（カタカナ表記のお名前および漢字表記でも中国・韓国名と判断される方）の方

2016年10月1日～2017年9月30日に当院初診で救急外来を受診された日本人の方

2. 研究目的・方法・研究期間

＜研究目的＞本研究では救急外来における外国人患者の診療上の課題を明らかにするための、（1）言葉・文化・宗教、（2）保険加入の有無、（3）診療を行う上での困難なことなどの実態を調査し、外国人患者へのサポート体制の示唆を得ます。

＜研究方法＞救急外来日報とカルテからデータを収集し、受診に至るまでの状況や疾患・治療、医療費などの情報が十分であったか、言語・宗教・生活習慣の違いによる治療の遅れがないかなどを調査します。日本人の初診患者と比較して分析します。救急外来は季節性に発症する疾患で受診することが多いため1年を通しての調査としました。

＜研究期間＞ 実施承認日～2018年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

救急外来日報：年齢、性別、来院日時・退室日時、初診・再診の別、救急車の利用の有無、診療科名、病名・主訴、転帰

カルテ：保険の種類・取得年月日、発症から受診に至るまでの記録、内服処方の有無、言語・宗教に関する記録、その他外国人であることで診療に影響を及ぼす記録など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8560

名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学医学部附属病院看護部
若園尚美（研究責任者）